

Table with columns for business name, codes, fees, course, class, budget, and legal basis. Includes '塵芥処理事務費' and '一般廃棄物取扱手数料'.

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間 (Business Period) and ② 事業の内容 (Business Content). Includes details on annual fees and business flow.

(2) トータルコスト

Table showing costs and time for 2024. Columns include '事業費の内訳' and '延べ業務時間の内訳'.

Table showing total costs and personnel costs. Columns include '事業費' and '人件費' with data for 2022-2025.

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping activities (手段), objectives (目的), and higher-level objectives (上位目的) to specific indicators (指標) with data for 2022-2025.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns discussing environmental changes, resident opinions, and the start of the business.

事務事業名	塵芥処理事務費 一般廃棄物取扱手数料	課名	環境課	班名	クリーンセンター
-------	-----------------------	----	-----	----	----------

2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒[理由]↷ 有料の市指定ごみ袋でごみの排出を行うことによって、一般廃棄物の排出量が抑制され、資源が再利用されることに結びつく。
	② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒[理由]↷ 事業系ごみは市の許可業者による収集によって排出量の抑制と資源化が図られており、市民を対象として、ごみの排出量抑制と費用の適正負担を図ることは適切である。
	③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↷ ごみ処理は市の役割で行うべき事業であり、一般廃棄物の抑制は市が関与しなければ実現困難なものである。また、費用負担の適正化を図る上で市が関わることは妥当である。
	④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒[理由]↷ 指定ごみ袋販売手数料がごみ処理費用に占める割合は、近隣自治体と比べて高い水準にある。人口一人当たり一般廃棄物排出量は近隣自治体と比べ旭市は945.3g・銚子市1410.5g・匝瑳市734.5g(H23/人日)
	⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？	<input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒[理由]↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒[理由]↷ 人口一人当たり一般廃棄物排出量は、生ごみ処理機購入費補助など他事業と連携することで削減することが可能。
有効性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：(生ごみ処理機購入費補助、廃棄物減量化推進員事業) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒[理由]↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒[理由]↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒[理由]↷ 既に連携して取り組みを行っている。
	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↷ 配送の回数等の削減余地はない。(月4回が妥当である) また、販売手数料は近隣自治体と比べて高い水準にあり、削減余地がある。
効率性 評価	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒[理由]↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒[理由]↷ 販売手数料を差し引いて指定ごみ袋の販売をすることで、業務時間の削減が可能。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒[理由]↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒[理由]↷ 受益者(市民等)負担はごみの排出量に応じて一般廃棄物取扱手数料として負担している為、公平性が保たれている。

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	一般廃棄物排出量は減少しており、一定の成果は見られる。但し、販売手数料水準は事業開始時より変わっておらず、見直し余地がある。また、袋の配達回数や手数料徴収の仕方についても見直し余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持																					
	低下																					
(2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①販売手数料の引き下げを検討する。(平成27年度予算まで) ②振替払い(匝瑳市方式)検討。 ③契約書内容(契約書のあり方)の確認。																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①②③特に無し																						